

子どもの今を、未来を守ろう

児童虐待は早期発見が必要です。子どもが自ら声をあげることはまれです。積極的な通報、相談をお願いします。

児童相談所(☎263-0694、☎263-0705)



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

市児童相談所が受けた、昨年度の児童虐待の相談・通告件数は2,594件でした。

重大な事件が後を絶たず、件数は

増加するなど、児童虐待は依然として深刻な社会問題となっています。一方で、通報で救われる子どもも増えていきます。

児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください(通話料無料)
あなたの一本の電話で救われる子どもがいます

いち早く
電話で **189** 番へ

全国共通。近くの児童相談所につながります。携帯電話、スマートフォンからはコールセンターのオペレーターがつかまいます

子育てに関する相談窓口

相談窓口	電話番号			
児童相談所(東区光町二丁目15-55)	☎263-0694 ※			
相談窓口	区	電話番号	区	電話番号
こども家庭相談コーナー (区地域支えあい課内)	中	504-2739	安佐南	831-5017
	東	568-7794	安佐北	819-0639
	南	250-4160	安芸	821-2827
	西	294-6519	佐伯	943-9773

【相談日時】(月)~(金)の8:30~17:15。(祝)・(休)、年末年始、8月6日は除く

※虐待に関する通報・相談は、児童相談所で、電話で24時間受け付けています(夜間・休日可)

LINEで相談できます

子どもを虐待から守るため、「虐待を受けている」「虐待してしまいました」「虐待したかもしれない」などの相談をLINEで受けています。
☎児童相談所(☎263-0694、☎263-0705)

ためらわずに相談を

市は、児童虐待防止のため、若い世代が相談しやすいよう、LINEを活用しています。

ささいなことでも構いません。悩みを相談してください。

※身体や命に危険があると判断した

ときなど緊急の場合、関係機関に連絡して安全を確保することがあります

虐待の早期発見のために

早めに相談することが、虐待の防止につながります。緊急の場合や電話での相談は、左記事を参考にしてください。

親子のための相談LINE

対象者 市内に在住の子ども・保護者 など

相談対応時間 平日13:00~17:00

相談の始め方

- 1 LINEをインストールしたスマートフォンで下の二次元コードを読み取って「友だち」追加
- 2 「トーク」画面で、「チャット」をタップし、広島市を選択
- 3 表示されたURLをタップし、内容を確認し、「許可する」をタップ
- 4 必要情報を入力し、「相談をはじめ」をタップ

相談例



子どもから

「親から暴力を受けている。家を出たい」



保護者から

「子どもがわがままばかり言うので、暴力を振るってしまった。後悔している」

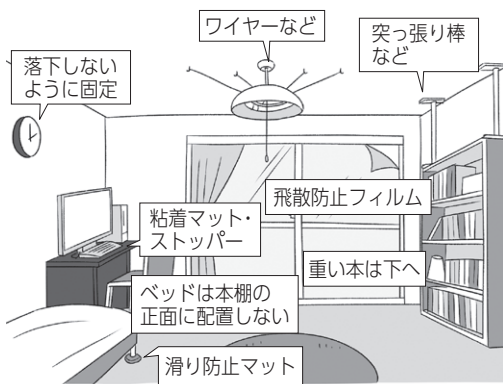
地震への備えに自信ありますか

広島には南海トラフ巨大地震をはじめ、さまざまな大地震が想定されています。地震はいつ起きるか予測できませんが、事前に対策することで、被害を小さくすることができます。

☎災害予防課(☎504-2664、☎504-2802)

日頃から室内を安全な空間にしましょう!

家の中の地震対策。次のことに気を付けましょう



- 高い場所に重い荷物を置かない
- 寝室になるべく家具を置かない
- 避難経路を確保する(部屋の出入り口や玄関に倒れやすい家具を置かない)
- 家具は、突っ張り棒やワイヤーなどで固定する
- 飛散防止フィルムを貼ってガラスの飛散を防止

ご存じですか? 長周期地震動

長周期地震動の特徴と対策

長周期地震動は、ビルの高層階をゆっくり、大きく揺らす現象です。震源から数百*離れた場所でも、高いビルでは10分以上揺れが続く場合があります。

東日本大震災では、震源から700*離れた大阪市内の高層ビルで、長周

期地震動により、家具の転倒やエレベーターの故障などの被害が発生しています。

長周期地震動による大きな揺れが予想される場合には、緊急地震速報が発表されます。緊急地震速報を見聞きしたら、テーブルの下に身を伏せるなど、安全を確保する行動を取ってください。

11月11日は介護の日

高齢化などにより、介護が身近なものとなっている今、それぞれの立場で介護について考えていくことが必要です。

☎介護保険課(☎504-2173、☎504-2136)

普段から「介護」を考える

介護を必要とする人が増加している中、市では地域全体で支え合い、心豊かに暮らし続けることができる社会を目指しています。

身近に、介護を受けている人がいなくても、介護施設への送迎場面に出くわしたり、介護施設の前を通りかかったりするなど、普段の生活の中で介護を見聞きしたときに、介護について思いを巡らせてみませんか。



介コレ

-カイゴギャップコレクション-

福祉・介護の仕事の魅力を発信するイベントです。詳しくはイベントホームページで。



☎12月10日(日)13:00~16:00

場広島駅南口地下広場

☎介護施設の職員・利用者による

ファッションショー、ポスター展 など

☎県社会福祉協議会

(☎254-3415、☎256-2228)

インタビュー

「ありがとう」と笑顔が原動力

食事を自分で取ることが難しい人が私の働く施設に入所した



特別養護老人ホーム 和楽荘(安佐南区)職員 永末安理奈さん(21) 私たちスタッフは、食事時の姿勢や食器の位置を変えるなどして、試行錯誤を重ねました。利用者さん自身の努力のこいもあり、全量

を自力で食べることができるようになったのです。この時の達成感や喜びは、日々の原動力になっています。

慣れるまで大変なことや、利用者さんとの関係に悩む事もありますが、それは「介護職」だからではなく、どの仕事でも当てはまることだと思います。利用者さんやご家族から「ありがとう」と言ってもらえる時の喜びを多くの人に知ってほしいですね。介コレ(上記)でも、介護職の魅力を紹介します。